

こうじレポート No.20



第3回臨時議会が開催されました（7月28日）

国の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」が補正予算で成立したことを踏まえ、過日、臨時議会が開催されました。以下概要です。

- ①補正額3億1,949万2千円となり、累計予算額511億6,370万3千円となりました。
 - ②景気低迷により法人市民税の還付額が予想以上に増加し、過去最高で見込額は約3億円です。
 - ③上尾市緊急経済対策（中小企業等支援分）として、公共施設の小規模修繕工事を緊急発注し、地域経済の活性化を図る。全体で45事業、総額1億1,884万7千円
 - ④その他、DV被害者支援特別給付金給付事業、新型インフルエンザ対策事業等
- 参考：市税の還付金決算額(単位千円・千円未満四捨五入)

市税還付金	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度見込
金額	14,079	66,615	96,066	76,410	86,838	281,631

※※※上尾市の職員状況について※※※

1、職員の33%が非正規職員

正規職員1,458人、非正規職員（再任用職員20人、非常勤職員695人）

2、平均年齢46.4才（21年度）

区分	18年度	19年度	20年度	21年度
平均年齢	46.4	46.4	46.5	46.4

3、50代が全体の約4割

区分	10代	20代	30代	40代	50代	合計
年代	4	206	350	334	564	1,458

4、人件費（単位千円）

区分	正規職員	再任用職員	非常勤職員	合計
19年度決算	13,449,298	32,039	122,371	13,603,708

5、過去、今後4年間の定年退職者の推移

今後4年間で毎年約60人が定年退職の予定（総数232人）

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
定年退職者	33	42	44	64	55	58	55

*上尾市職員適正化計画により22年度には、1,450人までに削減する予定です。

私見：①ベテラン職員の大量退職に伴い、職員数の減少、マンパワーの低下や、実務上のノウハウの喪失が懸念される。住民サービスの維持増進に努力することが課題である。

②大量退職は専門性の問われる部署にも影響をもたらします。スリムで効率的な行政運営の為にOB等の再任用制度は効果がある。

③職員の能力、意欲等モチベーションを高める為に人材育成と同時に、従来の年功的な人事評価制度から、今後は、民間的にメリハリのある処遇格差を伴う人事評価に取り組む意識が大切であります。

9月定例市議会は、9月1日から開催されます。

ご意見・ご要望お待ちしております。